

千葉県立博物館評価に係る有識者意見交換会 自己評価票

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)	値の説明				数値
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	資料のデジタル化数	今年度実績	件	/	A	計画なし
					館設定の目標	件			
		2	収蔵資料の受入	今年度実績	8点	4	A	寄付申込作品に対し、当館が受入を希望した点数	
				館設定の目標	8点				
		3	館外貸出(外部機関等展示等)	今年度実績	5件	4	A	調査依頼なし	
				要望のあった件数	5件				
		4	館内利用(学術調査等)	今年度実績	件	/	A	調査依頼なし	
					件				
		5	著作物資料への利用(出版物掲載等)	今年度実績	12件	4	A	調査依頼なし	
				要望のあった件数	12件				
		6	調査事業件数	件数	今年度実績	6件	4	A	計画なし
					館の計画	6件			
7	共同調査事業件数	件数	今年度実績	件	/	A	計画なし		
				件					
8	研究成果の公開状況	論文研究報告	今年度実績	3件	4	A	計画なし		
			館の計画	3件					
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	メタルアートミュージアム閉館に伴い、日本金工史において重要な作家の作品356点、昨年度より調査を開始し、現在寄付受入れ手続き中。調査事業は企画展関連、収蔵資料及び資料収集に関する調査。その他房総の美術家に関する調査を行い、房総の美術家シリーズの発行およびデジタルミュージアムでの公開を行う。								
有識者コメント	【石川】資料の情報システムへの登録は、今後の利用価値を考慮して進めていただきたい。 【黒田】収蔵資料受入について、館設定の目標値の根拠となる実績は何かを備考などで明示していただきたい。 【戸枝】寄贈金工資料は日本を代表し、千葉県ゆかりの作家の資料です。調査研究を進め企画展や移動美術展を含む普及活動に活かして下さい。引き続き県内各地の博物館・美術館の連携して、房総の美術家の調査を行って下さい。過去の諸展覧会などからも情報収集して下さい。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	今年度実績	122573人	4	B	平成26年度は平山郁夫展
						昨年度実績	30036人			
			2	特別展 香取神宮展	入館者数	今年度実績	8604人	1		
						昨年度実績	29337人			
			3	移動美術館	入館者数	今年度実績	759人	3		
						館設定の目標	828人			
		展示の充実	4	アートコレクション	更新回数	今年度実績	14回	4	A	
						館設定の目標	14回			
			5	特別展 香取神宮展	実施回数	今年度実績	1回	4		
館設定の目標	1回									
6	移動美術館		実施回数	今年度実績	1回	4				
				館設定の目標	1回					
総合的な満足度	7	博物館		今年度実績	/		A	計数せず		
				8	特別展 香取神宮展				企画展アンケート満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	今年度実績
	9	移動美術館	今年度実績	91%	4					
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	26年度は1月24日~3月31日開館。企画展は12月中の入場者が少なかった。常設展示は展示が固定された常設展示というよりは、収蔵作品を様々なテーマで紹介するミニ企画展として開催。27年度のアートコレクションの更新は展示室1.2室で4回、3室5回、8室5回、7室1回計14回実施。移動美術館は予算要求2回のところ、1回分に削減された。									
有識者コメント	【石川】企画展の時期が悪い。かなり知名度の高い企画展でないと大幅な来館者は見込めない。収蔵品の活用で常設展に変化をもたせ、リピーター確保も一業。 【黒田】企画展の入場者について、なぜ入館者が落ち込む月があったのかを分析して今後活かしてほしい。また、満足度についてもより多くを満たせるような展示テーマを深める方策を今後も継続して行ってほしい。 常設展の展示の更新に力を入れたのであるから、その成果が入館者の満足度に反映されたのかどうかをぜひ調査してほしい。今後は美術館全体の満足度について、ぜひ定期的に調査を行ってほしい。 【戸枝】香取神宮展は、大きな仏像があり効果的に展示するには、美術館の天井、照明システムが必要であった。展示は安全に、また照明等も工夫されていた。関連イベントも良かったと思う。移動美術館は予算も伴うが、開催場所の都合もあることで、引き続き展示資料と開催場所の調整をしながら実施して下さい。アートコレクション展には素晴らしい作品が展示されていたが、やや解説が難しいように思った。広報活動を工夫してください。展示に関連する各サークル等も把握し、情報提供したら如何でしょう。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	今年度実績	32%	2	B	平成26年度は特別展のみのデータ
						昨年度実績	85%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	今年度実績	2件	4		
						館設定の目標	1件			
大項目IIIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	外部資金の開拓と獲得に努める。									
有識者コメント	【石川】大いに努力願いたい。 【黒田】研究の継続性や展示の発展性を考えても、外部資金についてはぜひ今後も開拓と獲得の努力を継続してほしい。入場料について、入場料を徴収する世代を引き付ける企画を模索してゆくことが必要ではないかと思う。 【戸枝】香取神宮展は中高年者の入館が多く、65歳以上無料入館であるため、本項目の評価は低いが、ある程度予想できたのではないのでしょうか。引き続き外部資金獲得に努めて下さい。人と人のつながりも大切な獲得要素と考えます。美術館の活動実績を多方面に情報発信するとともに、アンテナを広く張ることも必要です。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]		値の説明	数値			
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	今年度実績	83回	4	A
						昨年度実績	62回		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	今年度実績	153999件	4	
						昨年度実績	71502件		
			3	報道機関への情報発信	取材件数	今年度実績	50件	4	
						昨年度実績	48件		
大項目Ⅲの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	ホームページのアクセスは増加しており、具体的な来館に結び付ける方法を工夫したい。								
有識者コメント	【石川】他館を参考に、特色あるホームページに期待する。 【黒田】上記コメントの内容にぜひ真摯に取り組んでほしい。 【戸枝】企画展の露出数は多かったように思います。連載記事は展示広報に有効です。広報も人と人の関係が大切な要素です。HPについては同意見です。								
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	今年度実績	8校	4	A
						昨年度実績	1校		
			2		入館者数	今年度実績	298人	4	
						昨年度実績	24人		
			3	生徒・児童	入館者数	今年度実績	2774人	4	
						昨年度実績	648人		
			4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	今年度実績	15校	4	
						要望があった数	15校		
			5		利用者数	今年度実績	17798人	4	
						要望があった数	17798人		
		地域関係団体との連携	6		団体数	今年度実績	18団体	4	
						要望があった数	18団体		
			7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	今年度実績	5回	4	
						要望があった数	5回		
8			利用者数	今年度実績	16308人	4			
				要望があった数	16308人				
9	友の会活動	利用人数	今年度実績	448人	4				
			昨年度実績	169人					
10	ボランティア活動	活動延人数	今年度実績	503人	4				
			館設定の目標	500人					
大項目Ⅳの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	学校との連携は拡大傾向にある。NPOや大学等との連携を工夫したい。								
有識者コメント	【石川】他館を参考にし、教育センター等間接的に広報可能な先を利用する(もっと活用する)のはいかがか。 【黒田】連携することで可能となる事業や企画が拡大すると思われるので、ぜひ新しい試みにも挑戦してほしい。 【戸枝】来館学校には引き続き案内を出し、リピート率を上げるようにして下さい。来館地域・学年の統計をとり、周辺地域・学校への広報材料として下さい。出前授業も教科研究会などで広報するとともに、リピート率も保つようにして下さい。友の会・ボランティアは美術館のファンです。ファンからの口コミ広報はとても有効です。友の会・ボランティアとの連携を大切にして下さい。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27) 下段:目標値(H27)]		値の説明	数値				
VI	教育・普及活動	来館状況	1	講座	陶芸講座(基礎)	参加者数	今年度実績	13人	2	B
						募集員数		20人		
			2	講座	陶芸講座(応用)	参加者数	今年度実績	16人	3	
						募集員数		18人		
			3	講座	コラグラフ(版画)	参加者数	今年度実績	20人	3	
						募集員数		26人		
			4	講座	篆刻	参加者数	今年度実績	26人	4	
						募集員数		20人		
			5	講座	金工	参加者数	今年度実績	15人	4	
						募集員数		15人		
			6	ワークショップ	たのしい日本画教室	参加者数	今年度実績	33人	4	
						募集員数		20人		
			7		小さなアニメーションを作ろう!	参加者数	今年度実績	20人	3	
						募集員数		26人		
			8		缶バッジを作ろう!	参加者数	今年度実績	39人	3	
						募集員数		50人		
			9		この夏限定!不思議の森美術館関連ワークショップ	参加者数	今年度実績	28人	4	
						募集員数		20人		
		10	いろいろ作ろう、美術館の縁日だよ!		参加者数	今年度実績	46人	3		
					募集員数		50人			
		11	オリジナルモノレールを作ろう!		参加者数	今年度実績	23組	4		
				募集員数		20組				
		12	ギャラリートーク	参加者数	今年度実績	198人	4			
				募集員数		150人				
		13	特別展開連事業	講演会①	参加者数	今年度実績	207人	4		
					募集員数		180人			
		14		講演会②	参加者数	今年度実績	180人	4		
					募集員数		180人			
		15		演武	参加者数	今年度実績	150人	4		
募集員数					100人					
16	KATORI special days	参加者数		今年度実績	1090人	4				
		募集員数			1000人					
17	新春雅楽演奏会	参加者数	今年度実績	200人	4					
		募集員数		180人						
18	ギャラリートーク	参加者数	今年度実績	402人	4					
		募集員数		400人						
秘会的な窓口	教育・普及活動	講座	陶芸講座(基礎)	今年度実績	100%	4	A			
				今年度実績	93%					
				今年度実績	100%					
				今年度実績	91%					
				今年度実績	100%					
		ワークショップ	たのしい日本画教室	今年度実績	%	4				
				今年度実績	%					
				今年度実績	%					
				今年度実績	%					
				今年度実績	%					
				今年度実績	%					
ワークショップ	この夏限定!不思議の森美術館関連ワークショップ	今年度実績	%	4						
		今年度実績	%							
		今年度実績	%							
		今年度実績	%							
ワークショップ	いろいろ作ろう、美術館の縁日だよ!	今年度実績	%	4						
		今年度実績	%							
ワークショップ	オリジナルモノレールを作ろう!	今年度実績	%	4						
		今年度実績	%							

満足度「とても良かった」+「良かった」の割合

アンケート実施せず

分類	大項目	中項目	小項目		値の説明	数値	達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)]						
			30	ギャラリートーク	今年度実績	%			アンケート実施せず	
			31	特別 展 関 連 事 業	講演会①	今年度実績	95%	4		
			32		講演会②	今年度実績	93%	4		
			33		演武	今年度実績	%			アンケート実施せず
			34		KATORI special day	今年度実績	%			アンケート実施せず
			35		新春雅楽演奏会	今年度実績	%			アンケート実施せず
			36		ギャラリートーク	今年度実績	%			アンケート実施せず
		利用状況	37	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	今年度実績	件 件			計数せず
大項目Ⅵの総合評価(A~D)								A		
博物館コメント	教育・普及活動に関しては、参加者の満足度は高い。展示との関連付けなどを通じて質的向上を図りたい。									
有識者コメント	<p>【石川】参加者からの情報で、来館者増にもって行けるのではないだろうか。</p> <p>【黒田】特別展関連事業については、企画展全体のアンケートの項目に関連事業についての満足度を問う項目を設定することでアンケートが実施できたかもしれないと推察する。達成度が低い事業を中心に、広報の工夫や質の向上に努めてほしい。</p> <p>【戸枝】【戸枝】多くの普及事業を行っている。定員超過プログラムについては、応募者へのフォローを行うことによって、ファンが増えるのではないようでしょうか。毎回参加する方も必要ですが、新たな参加者の獲得も利用者層を広げます(博物館コメントと同じ)。特別展(香取神宮展)関連のイベントには多くの利用者があり、展示だけでなくこの種のイベントには館の周知や利用者増に有効でした。</p>									
Ⅶ	人材育成 と安全管理	実習 研修	1	博物館実習	今年度実績	3人	4	A		
					要望数	3人				
			2	教員等の研修	今年度実績	2人	4			
					要望数	2人				
		3	職場体験	今年度実績	15人	4				
				要望数	15人					
4	インターシップ	今年度実績	6人	4						
		要望数	6人							
安全管理	5	研修会の開催	実施回数	今年度実績	回	4	A	実施せず		
			回	回						
6	防災訓練実施等	実施回数	今年度実績	1回	4					
			昨年度実績	1回						
大項目Ⅶの総合評価(A~D)								A		
博物館コメント	職場体験やインターンシップでの活用が増加傾向にある。職業体験だけでなく、美術館への親近感を深める好機として捉え、カリキュラムに反映させたい。									
有識者コメント	<p>【石川】来館の定着性には小人数でも続けるべし。参加者一人が一人を集えれば増加可能。</p> <p>【黒田】上記コメントの内容にぜひ真摯に取り組んでほしい。</p> <p>【戸枝】博物館コメントと同じ。人数・期間等、可能な限り受け入れて下さい。美術館や学芸員への理解を深めるのに有効です。</p>									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値(H27)	下段:目標値(H27)	値の説明				数値
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	今年度実績	5団体	4	C	昨年度データなし
					昨年度実績	2団体			
			2		今年度実績	157人	1		
					昨年度実績	-			
			3	外国人来館入込	今年度実績	団体	1		
					昨年度実績	2団体			
			4		今年度実績	3人	1		
					昨年度実績	42人			
大項目Ⅷの総合評価(A~D)							C		
博物館コメント	県外団体や、外国人の来館については、千葉市内の他の施設との連携等工夫したい。								
有識者コメント	<p>【石川】近隣ホテル等の施設(ポートタワー等)との連携は不可欠です。</p> <p>【黒田】上記コメントの内容にぜひ真摯に取り組んでほしい。また、観光客が地域の博物館を訪れる動機づけなど、県内の他施設での分析なども参考にしつつ行ってほしい。</p> <p>【戸枝】博物館コメントと同じ。団体の来館目的はいろいろ。団体が美術関係同好会等であれば利用効果は大でしょう。団体の行動調査を続け、リピート率を上げるようにして下さい。</p>								
総合評価(A~E) [各達成度の平均]							A		
総合評価と次年度への対策	耐震改修による閉館期間を経て、通年開館であった。アート・コレクションは約1か月で展示替えを行い、様々なテーマで収蔵作品を紹介したが、充分広報が行き届かないうちに終了してしまったように思う。次年度は2か月程度とし、メディアへの宣伝を積極的に行う。展示と連携した教育・普及事業を企画し来館者へつなげる工夫を図りたい。								

【博物館評価に係る有識者意見】

評価項目全体に係る意見	<p>【石川】適切な時期に優れた企画展を開催するのに尽きるが、広報面で更なる充実が望まれる。改修前との来館者の変化、職員の意識改革等、小さな変化を向上に結び付けたい。</p> <p>【黒田】改修の目的が異なるとはいえ、来館者にとっては閉館を経た割には目新しさを印象付けられないのが現状であると思う。常設展の試みは目新しさと館としての研究の深度を示すことのできる良い機会であると思うので、ぜひ広報や、所蔵資料およびそれをもとにした研究の面白さを明確に演出する工夫にも取り組んでほしい。</p> <p>学校連携など、若い世代へのアピールが成果を上げているとみられるので、ぜひリピーターを育てられるような企画や対応を工夫してほしい。達成度が100%に満たないものは改善する余地があるものではないかと思う。評価数値だけにとらわれず、明らかになった問題を注視して改善に努めてほしい。</p> <p>【戸枝】博物館コメントと同じく、企画展各種普及活動とも良く実施されていると思います。今後も解説、わかりやすさ、照明や展示方法を工夫した展示を心がけて下さい。移動美術館、出前講座等には資料保全に留意して実施してください。引き続きマスコミ等への情報提供・広報活動を行って下さい。</p>
-------------	---

【博物館記入】

意見への対応	アート・コレクションについては、新しい試みを行う展示や当館のコレクションを深く紹介する展示など様々な切り口で新鮮味のある収蔵作品紹介を開催するよう、調査研究をしていきたい。企画展や特別展については、当館の調査研究の成果を発表する場であるとともに、幅広い年齢層や来館者のニーズに対応した展示を創意工夫して開催したい。広報の範囲・手段についても、予想される来館者の傾向や、周知を図りたい対象などを、過去の実績の分析を加味して検討し、柔軟な実施を心掛けます。また、ギャラリートーク、ワークショップなどで展示事業との連携を強化するとともに、学校での来館や出前講座を来館、再来館につなげるよう工夫したいと考える。
--------	---